

令和8年度（2026年度）北海道花き・野菜技術研修 （総合技術研修・専門技術研修）募集要領

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術センター

1 研修の構成

研修名	コース（分野）	研修期間	募集人数
総合技術研修	○花きコース ○野菜コース	<u>2026年4月</u> ～10月（約6カ月間） ※	10名
専門技術研修	○花き栽培 ○野菜栽培 ○土壌肥料 ○病害虫	1年以内の範囲で任意に設定	各コース 2名程度

※ 市町村における研修との連携・相互補完を図るため、市町村等で研修中（予定を含む）の方が総合技術研修を受講する場合は、期間の変更が可能です。

※ 諸般の事情により記載されているコースの設定がない場合もあります。

2 研修内容

（1）総合技術研修

総合技術研修は、花き・野菜の実践的な技術を有する農業者の育成を目的に、受講者が希望する花き又は野菜の作物栽培を主体に、講義や視察研修等を通して基礎理論から実践技術までを体系的に指導します。

経験豊富な試験場研究職員の他、花き・野菜の第一線で活躍する技術指導者等の外部講師が研修全般をバックアップします。

○研修の特徴

基礎理論から実践技術までを講義と実習、演習により、段階的に習得します。

・講義

主要な花き又は野菜の特性等、基本的理論を講義形式で学べます。

・実習

研修ほ場・温室等で受講者が希望する花き又は野菜の育苗、定植、防除等を実際に行い、栽培管理技術を学べます。また、パイプハウスの組立なども行います。

・演習

受講者が希望する花き又は野菜を主体に、講師の指導の下、土壌診断に基づいた施肥設計、病害虫診断、雑草防除など、栽培管理の技能・技法が学べます。

○受講対象者

高等学校卒業又は同等以上の学力を有し、心身ともに健康で次のいずれかに該当する方

- ①道内において花き・野菜の生産に従事している方又は従事を志す方
- ②道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している方又は従事を志す方
- ③その他、当センター場長が認める方

○令和8年度（2026年度） 総合技術研修カリキュラム（予定）

講 義		演 習		その他 (視察研修)
花きコース	野菜コース	花きコース	野菜コース	各コース共通
○主要花きの基礎 7品目程度 ○土壌肥料の基礎 ○病害虫の基礎 ○雑草防除の基礎 ○園芸資材基礎等 ○道産花きの現状 と新技術開発 ○花きの病害 ○花きの害虫 ○土壌と施肥管理 ○花きの鮮度保持 ○花き生産と流通 ○経営管理 ○農業金融制度 ○農地制度 等	○主要野菜の基礎 15品目程度 ○土壌肥料の基礎 ○病害虫の基礎 ○雑草防除の基礎 ○園芸資材基礎等 ○道産野菜の現状 と新技術開発 ○野菜の病害 ○野菜の害虫 ○土壌と施肥管理 ○野菜の鮮度保持 ○野菜生産と流通 ○経営管理 ○農業金融制度 ○農地制度 等	○切花の栽培管理 トルコギキョウ スターチス デルフィニウム 宿根かすみそう ゆり カーネーション ほか 希望品目 ○土壌分析・施肥設計 ○ハウス設置・撤去 ○増殖技術（挿し芽） ○病害虫診断 ○土壌調査法 ○鮮度保持・調製技術 ○開花調節技術 等	○野菜の栽培管理 メロン、トマト かぼちゃ、だいこん アスパラガス たまねぎ、キャベツ ブロッコリー ほうれんそう スイートコーン ほか 希望品目 ○土壌分析・施肥設計 ○ハウス設置・撤去 ○接ぎ木技術（メロン等） ○病害虫診断 ○土壌調査法 ○マルチ資材利用技術 ○野菜移植機操作技術 ○調製技術 等	○卸売市場 ○花き・野菜 集出荷施設 ○特徴的な取組を 行う農業者 ほか

注) カリキュラムは予定ですので、栽培品目等については変更する場合があります。
研修では、各受講者の希望品目を当センター研究職員全体で協力して栽培管理を実習します。

（2）専門技術研修

高度な専門技術を有する農業者や技術指導者の養成を目的に、当センターの担当研究グループの研究職員等による個別指導を通じて課題解決や各種技術の習得を図ります。

○研修課題及び研修期間の設定

設定された課題によって必要な研修期間が異なるため、営農の都合や指導体制を勘案して個別に開始時期や期間を決定します。1年の範囲内で、数回に分けての受講も可能です。

○コース別研修課題の主なもの

コース(課程)	研修課題の範囲
花き栽培	スターチス、デルフィニウム、トルコギキョウなどの栽培技術
野菜栽培	メロン、かぼちゃ、たまねぎ、トマトなどの栽培技術
土壌肥料	土壌・作物栄養診断技術
病 害 虫	病害虫診断・防除技術

※ 期間や詳細な研修内容(課題)などについては、担当研究グループと事務局との調整の上、決定します。

※ 諸般の事情により記載されているコースの設定がない場合もあります。

○受講対象者

高等学校卒業又は同等以上の学力を有し、心身とも健康で次のいずれかに該当する方

- ①道内において花き・野菜の生産に従事している方
- ②道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している方
- ③道内において花き・野菜の生産や技術指導への従事を志し、大学、短期大学及び専門学校（農業大学校を含む）等で花き・野菜に関する専門教育を受けた方
- ④その他、当センター場長が認める方

3 研修中の生活

受講者は、原則として当センター内に設置している「研修寮」に入寮していただきますが、所定の時間までに通える方については、この限りではありません。

（１）研修時間

月曜日から金曜日（祝祭日を除く）までの９時００分～１７時００分となっています。

※ 右の表は標準的な日程です。
この他の時間でも自主的管理
実習が必要なことがあります。

朝 食	７時３０分 ～ ８時３０分
講義・演習・栽培管理	９時００分 ～ １２時００分
昼 食	１２時００分 ～ １３時００分
講義・演習・栽培管理	１３時００分 ～ １７時００分
夕 食	１７時３０分 ～ １９時００分
門 限	２２時００分

（２）宿泊施設の概要

施設内容	研修生室（個室２９室）、談話室（テレビ設置）、浴室（２室）、食堂、小体育館
食 事	朝食・昼食・夕食（土日・祝祭日の食事の提供はありません）
洗 濯	全自動洗濯機・乾燥機完備

（３）研修経費

研修に係る授業料・教材費は不要です。
また、視察研修等による移動の際は、当センターが用意するバス等を利用しますので、交通費は不要です。
研修寮で食事をされる場合は、各自食費の負担が必要になります。

食 費	朝食 ４００円 昼食 ５００円 夕食 ６００円（各１食あたり、税込）
-----	--

（４）持参する物

研修に必要な物	筆記用具、電卓、作業着、雨衣、長靴（新品）、軍手、ゴム手袋 等
生活に必要な物	健康保険証・マイナンバーカード、洗面用具、上履き２足（研修寮及び庁舎用） 衣服、パジャマ、洗面と洗濯に伴う消耗品、日用品 等

（５）その他

万一の事故に備え、傷害保険への加入が必要となります。

4 申し込み手続き

(1) 申し込み

研修の申し込みは、「研修生願書」（「身上調書」を含む）を記載の上、次表を参考に該当する機関からの推薦を受け、当センターに提出してください。

○推薦機関一覧

区分	推薦機関
農業者（法人の構成員を含む）	管轄する農業改良普及センター所長（支所長）、市町村長
各農業関係機関、団体等の職員	所属する機関・団体等の代表者
大学、高校等の学生・卒業予定者	学長・学校長若しくは管轄する農業改良普及センター所長（支所長）
新規就農者（予定者を含む）	就農予定地を管轄する農業改良普及センター所長（支所長）、 公益財団法人北海道農業公社理事長（北海道農業担い手育成 センター）又は市町村長
市町村において農業研修を受講 されている方（予定者を含む）	農業研修を実施している市町村長

(2) 応募期間

総合技術研修 2025年11月4日（火）～2026年2月27日（金）

専門技術研修 2025年11月4日（火）～2026年2月27日（金）

(3) 受講許可

受講の許可は、書類等を審査の上、締切後速やかに本人へに通知します。

許可通知後は、研修開始までに保証人と連署の上、所定の誓約書を提出していただきます。

(4) その他

申し込み後、研修内容等について、打合せをさせていただくことがあります。

5 お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術センター

研究部 技術研修グループ 主査（研修）

〒073-0026 北海道滝川市東滝川735番地

TEL：0125-28-2211 FAX：0125-28-2299

E-mail：sphanayasai@hro.or.jp

URL：https://www.hro.or.jp/agricultural/research/hanayasai/organization/00fukyu_gro/0300kensyu_gro.html



北海道花き・野菜技術研修 研修生願書
(専門技術研修・総合技術研修)

令和 年 月 日
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事長 様

住所

ふりがな

氏名

生年月日 昭和 年 月 日 (歳)
平成

北海道花き・野菜技術研修生として次のとおり受講したいので、許可されるようお願いします。

記

1 専門技術研修

希望研修コース	希望研修期間
	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
希望する研修の内容	

2 総合技術研修

研修コース (希望するコースを○で囲む)	習得を希望する技術及び品目
花 き ・ 野 菜	

上記の者は、北海道花き・野菜技術研修生として適格と認め推薦します。

令和 年 月 日

推薦者 住所

職名

氏名

印

注:別紙身上調書を添付する。

身 上 調 書

氏 名		生 年 月 日	
		昭和 年 月 日 (歳)	
住 所		電 話 番 号	
E メールアドレス			
勤 務 先		電 話 番 号	

写 真
4cm×3cm

6ヶ月以内
上半身脱帽

家族 の 状 況	氏 名		続 柄	年 齢	職 業	同居別	特 記 事 項 (実家住所等)				
経 営 規 模	水 田	ha			栽 培 品 目	作目名	栽 培 面 積	花・野菜の内訳	品 目 名	栽 培 面 積	
	内転作	ha				水 稲	ha			ha	
	畑 地	ha				畑 作	ha			ha	
	ハ ウ ス	m ² × 棟				野 菜	ha			ha	
	家 畜	頭				花 き	ha			ha	
	そ の 他					その他	ha			ha	
経 歴	最終学校名 (学部・学科名)										
						昭和 平成	年 月 卒業 (見込) ・ 退学				
	職 歴					農 業 (職務) 従事状況					
						年間従事日数		日			
従事内容											
受講を希望する理由及び将来の目標											
そ の 他	免 許 ・ 資 格 等			健 康 の 状 況			特 記 事 項				

※ 記入いただいた個人情報は、北海道花き・野菜技術研修の研修生選考と本人の研修のために使用し、それ以外の目的には使用しません。